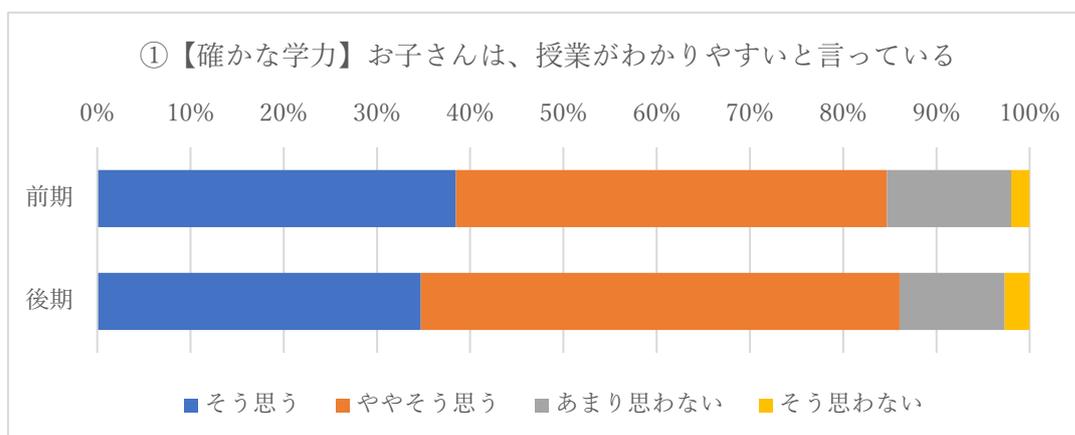


保護者用

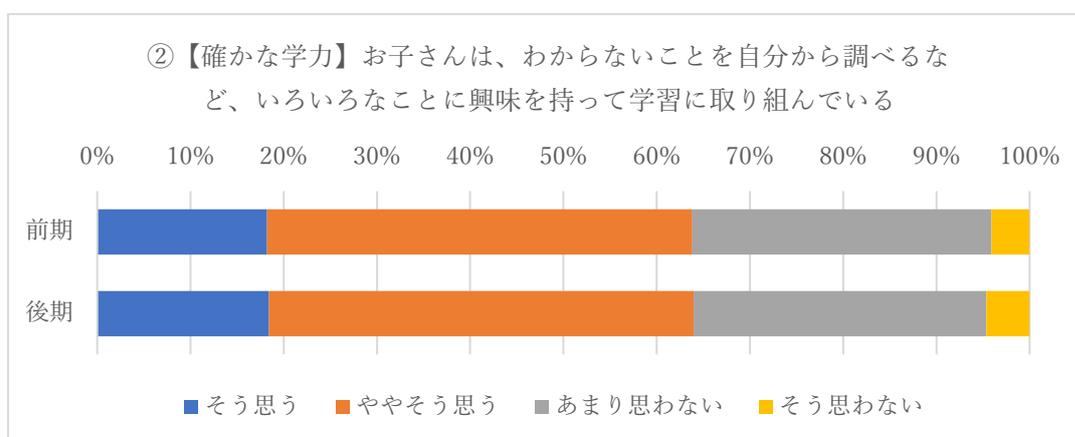
●令和5年度 第2回学校評価（前期：回答数712 後期：回答数602）

肯定的な意見：青・オレンジ

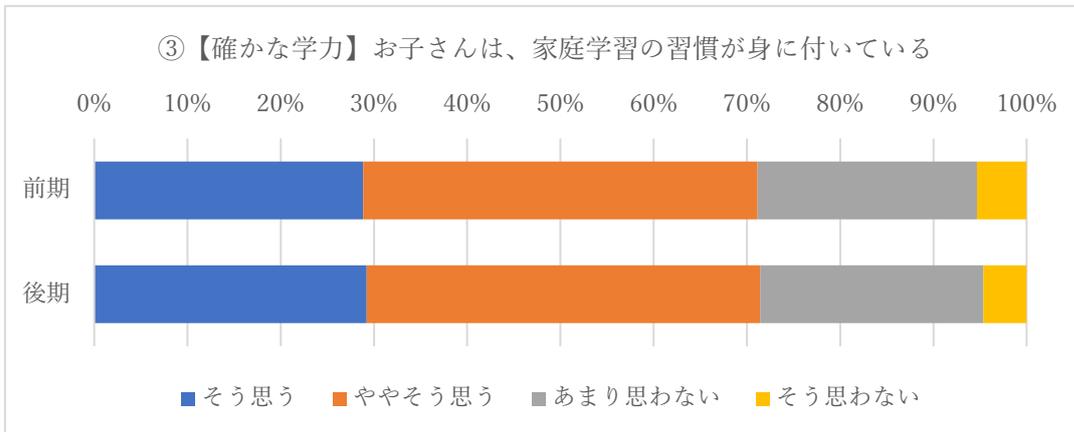
否定的な意見：グレー・黄色



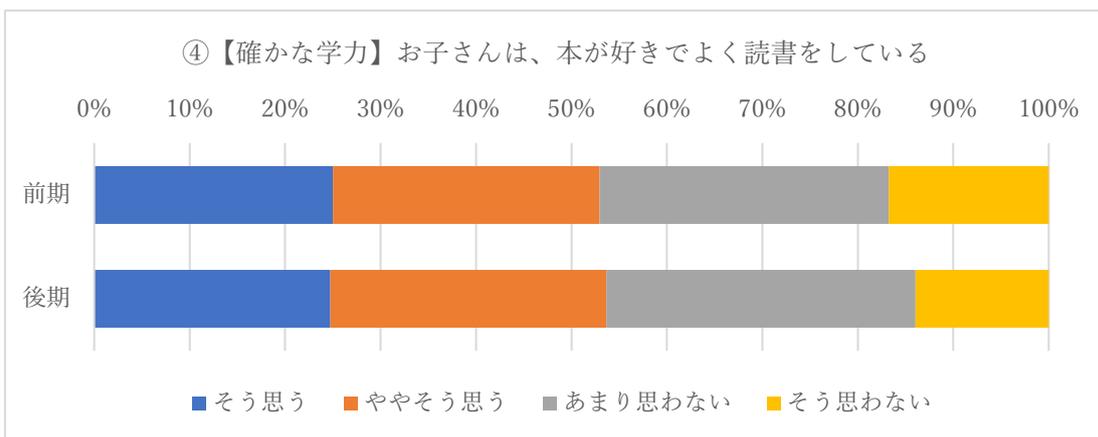
①前期より肯定的な意見が若干増えた。子供たちも成長し学習の方法がわかってきたとともに、職員のICT利活用能力が向上し、「わかる授業」に向けた授業改善が進んだと思われる。今後も授業力向上のため、校内研修、校外研修に励んでいく。



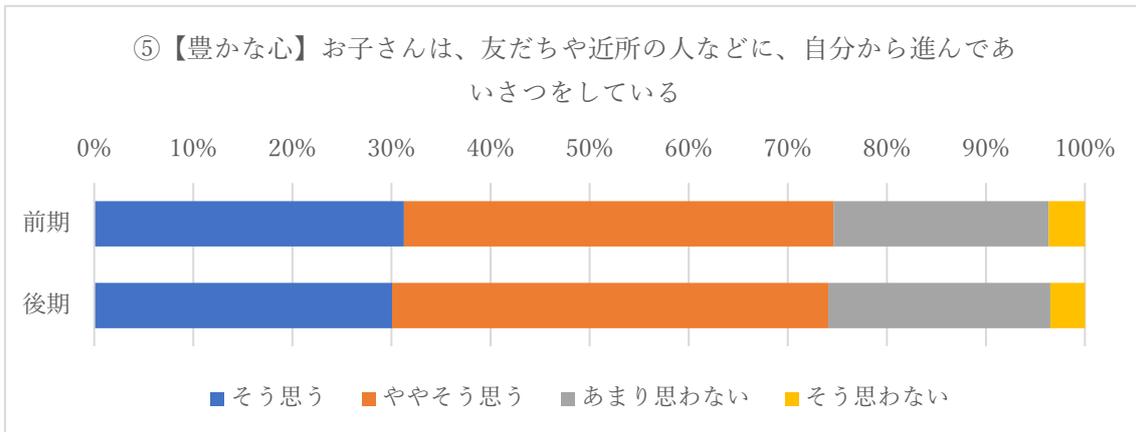
②前期とほぼ変わらないが、肯定的な意見が65%程度と低いので、子供たちの意欲をかきかてるような工夫をしていきたい。タブレットは4年生以上で毎日、持ち帰りをさせているので、積極的に活用していきたい。低学年は少しずつタブレットを活用していき、調べる態勢を整えたい。



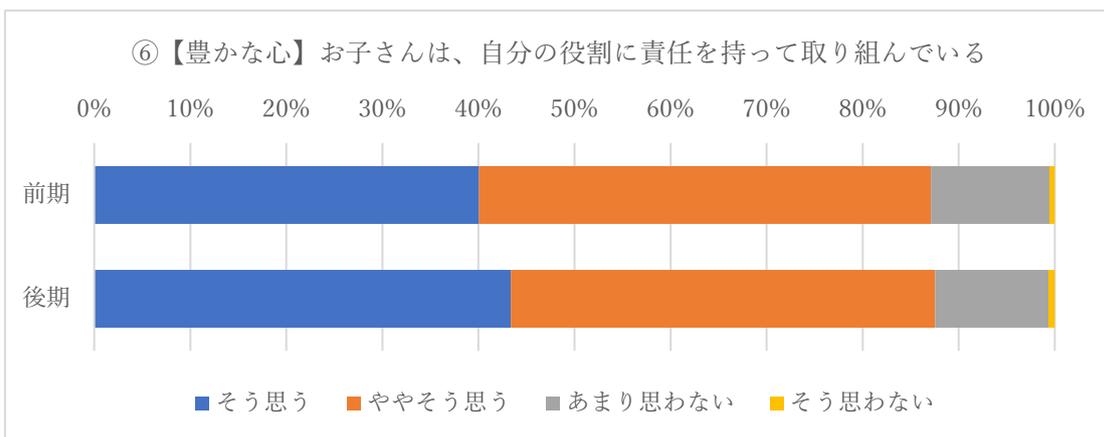
③肯定的な意見が約70%と、さほど高くないので、自主的に学習できるような環境づくりを家庭にもお願いしていきたい。学校としては宿題を出し、机に向かう習慣を身につけさせたい。



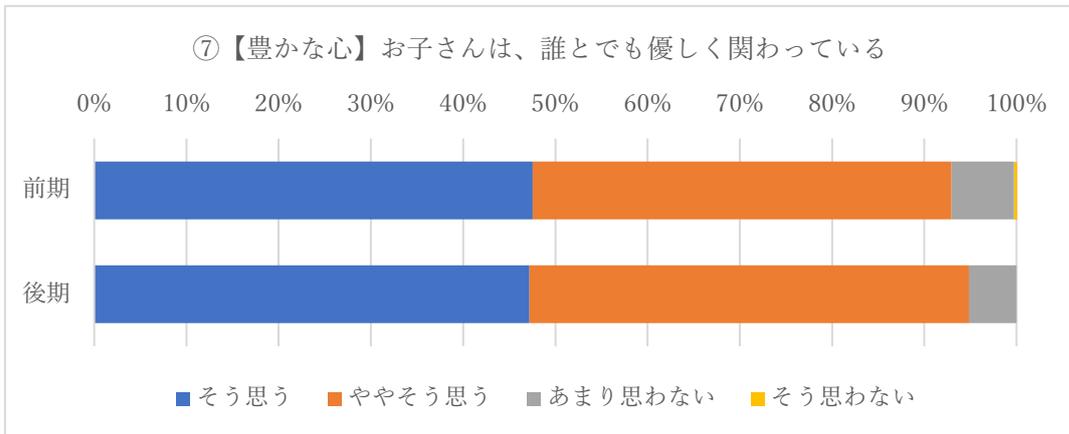
④前期同様、数値的には肯定的な意見が約55%であるが、子供たちは図書の時間や、空いた時間に読書をしている姿が多く見られる。家庭では、放課後の習い事、ゲーム機器、家族との団らんなど、本を読む時間がなかなか取れないからではないか、と推察する。校内のアンケートでは、「読書が好き・どちらかと言えば好き」が94%とかなり高い結果が出ている。引き続き、担任交換読み聞かせ、スカイライブラリーでの読み聞かせ、図書の貸出し、イベントなどで読書好きが増えるよう働きかけていく。



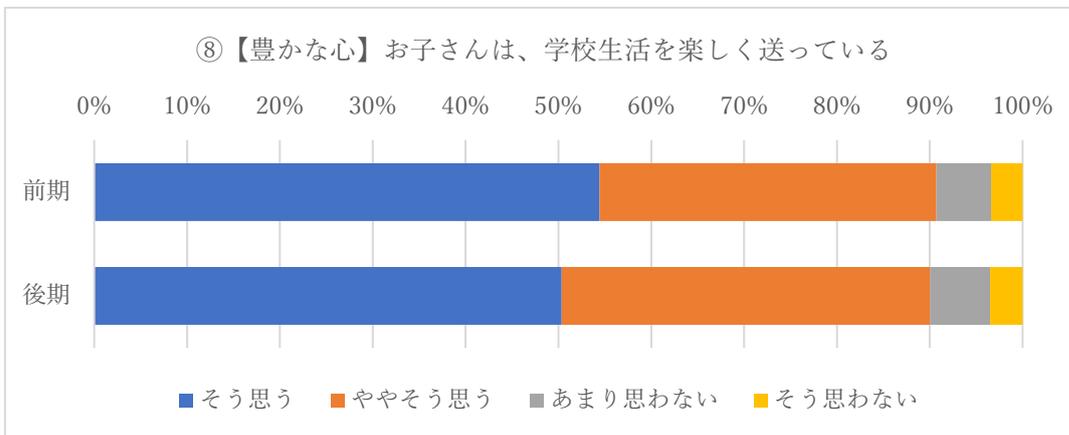
⑤前期は家庭では75%があいさつをしていると答えているが、後期は否定的な意見が少し増えているのが気になる。学校では職員があいさつの手本を示していくとともに、児童会を中心に挨拶運動などを行っていく。



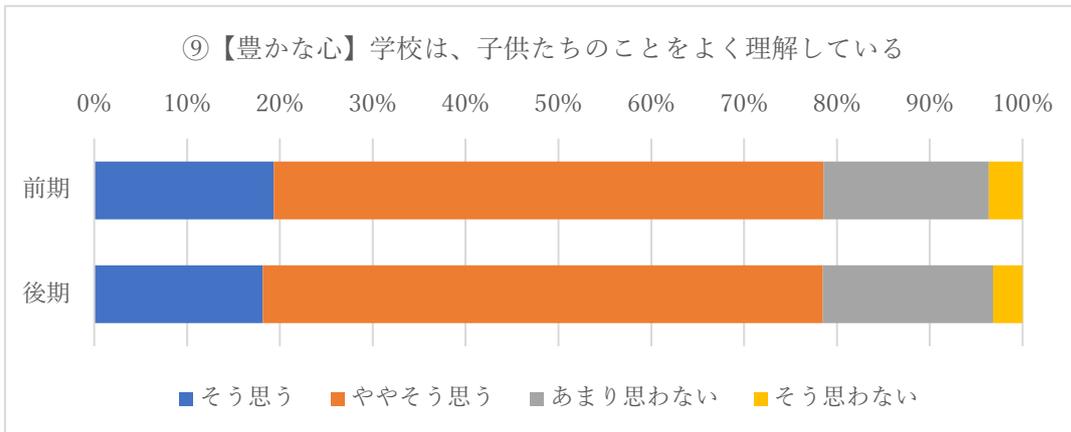
⑥肯定的な意見が90%近くあり、学級での係活動や当番活動、特別活動で、責任感が育っているものと思われる。



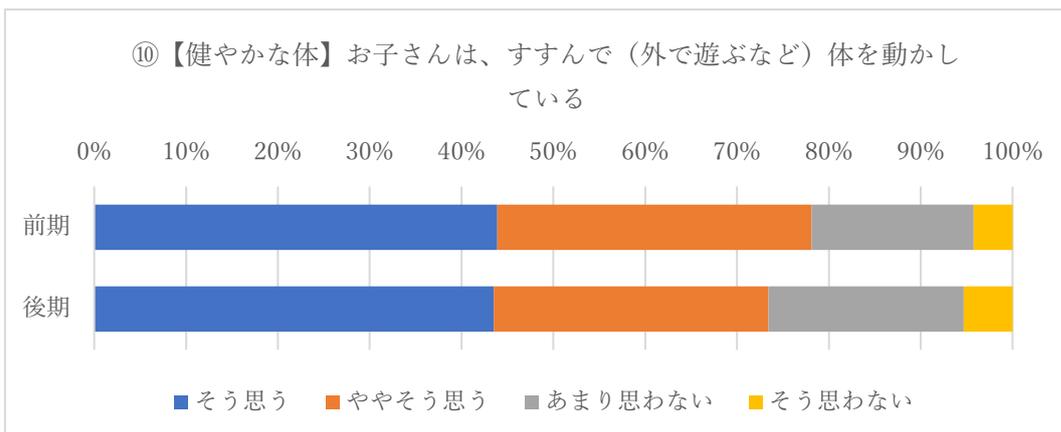
⑦肯定的な意見が95%にまで増え、やさしい子が増えていてうれしい限りである。この数値を維持できるよう、職員で日々声掛けを意図的に行っていく。



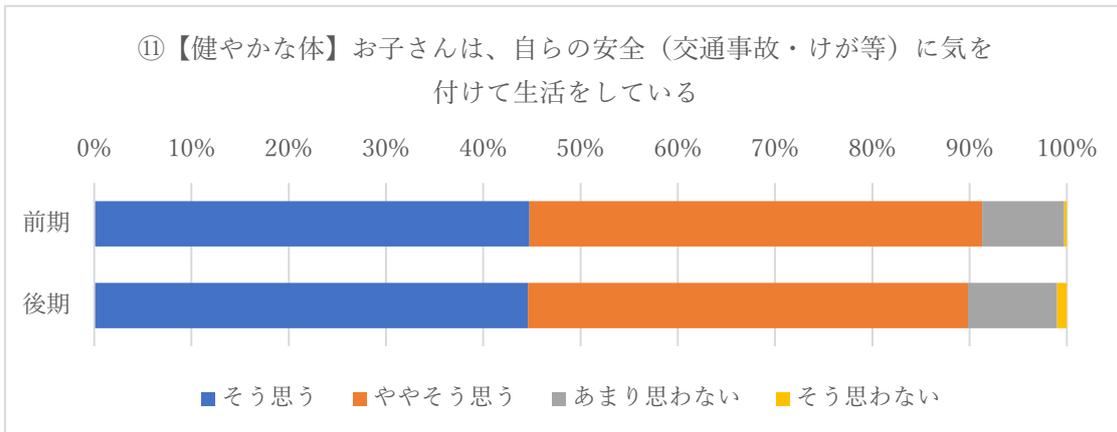
⑧否定的な意見が10%くらいいるのは残念である。毎月1回の児童アンケートなどを活用して、早期に子供たちをフォローしていきたい。



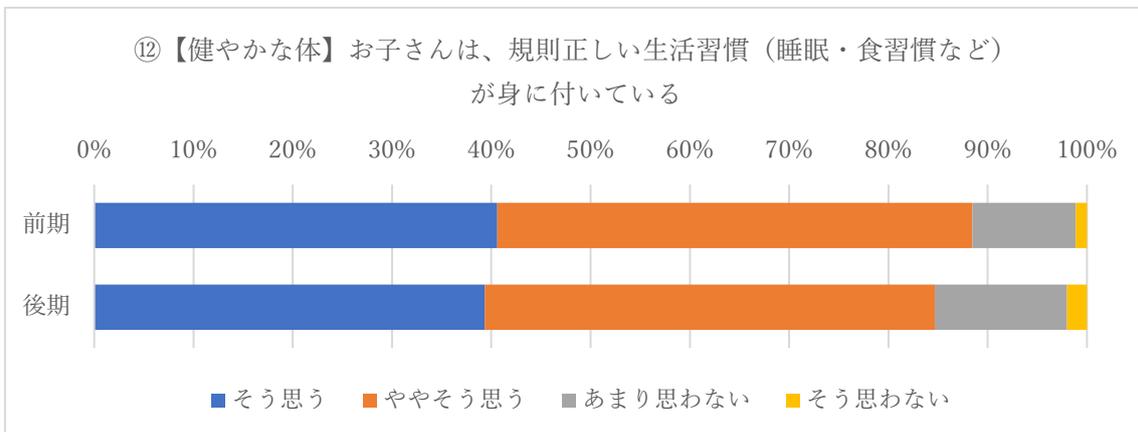
⑨数値としては変化していない。困り感のある児童に対しては、様々な場面で聞き取り等を重視して、諸問題の解決に向けて取り組んでいるが、成果として実感できない部分があるのではないかとと思われる。担任だけでなく、職員の組織的な対応を進めていく。



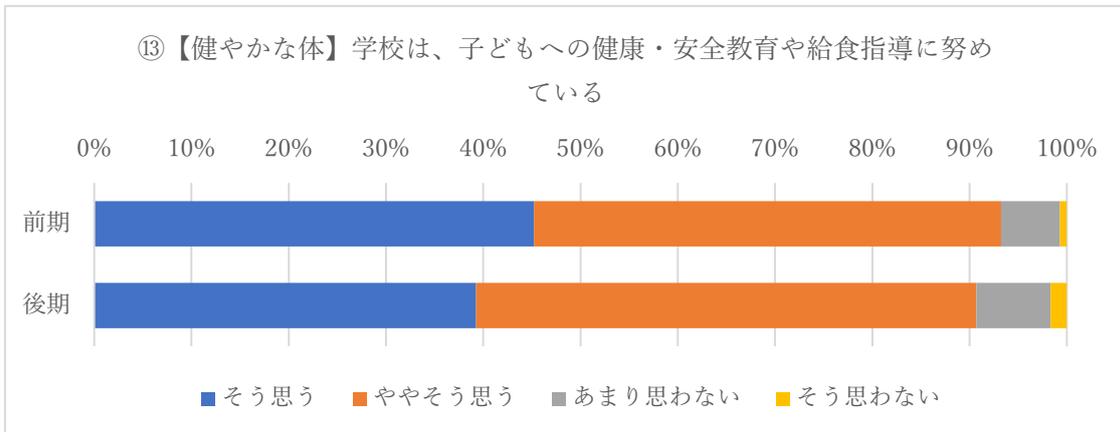
⑩こちらは肯定的な意見が減った。放課後は秋冬になり寒く、日没も早いので、外で遊びづらい状況ではある。学校では体育授業で十分な運動量を確保していく。業間休み、昼休みは校庭で元気よく遊ぶ姿が見られる。



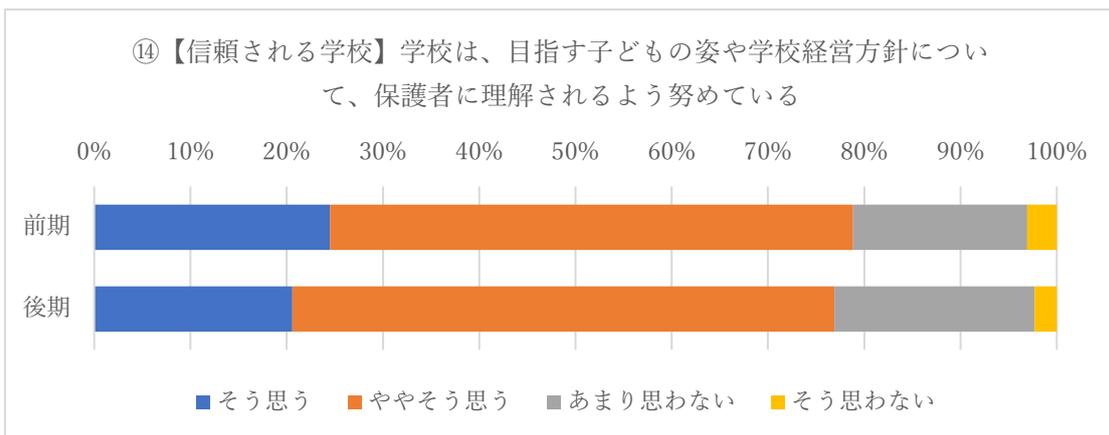
⑪前後期ともに90%近くの肯定的意見がみられる。引き続き交通安全、校内での事故予防に力を入れていきたい。



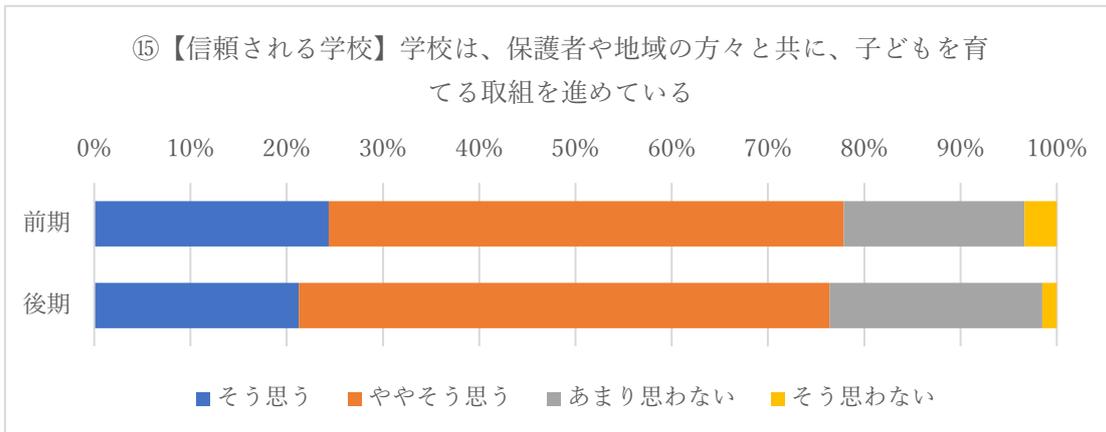
⑫否定的な意見が増えており、気になるところである。保健日より、給食日よりで早寝早起き、朝ご飯の啓発活動をしていく。



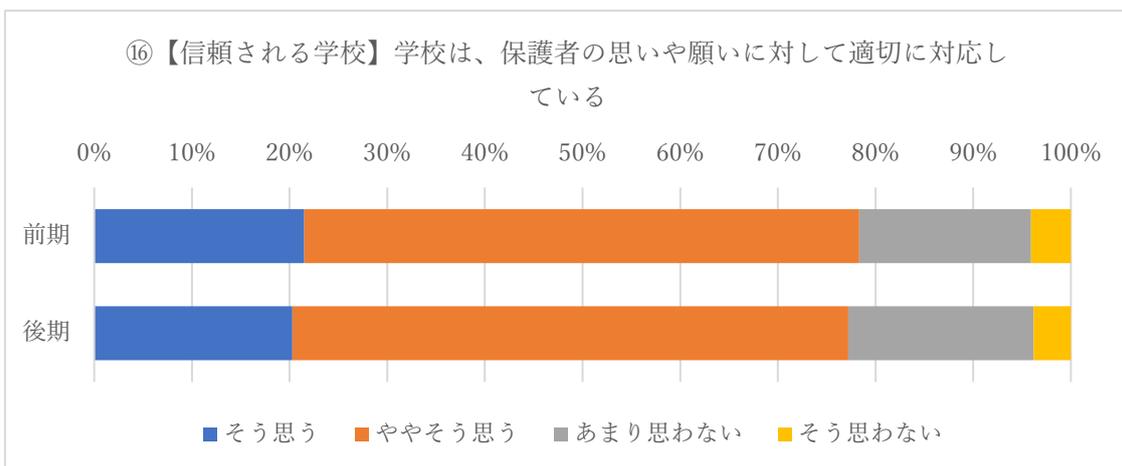
⑬数値は下がっているが、90%を超えている。健康・給食関連では、家庭科、保健、給食指導で指導していく。また、養護教諭、栄養職員とともに実態把握をし、5、6年生児童の活動する保健委員会、給食委員会、運動委員会で啓発活動を実施している。



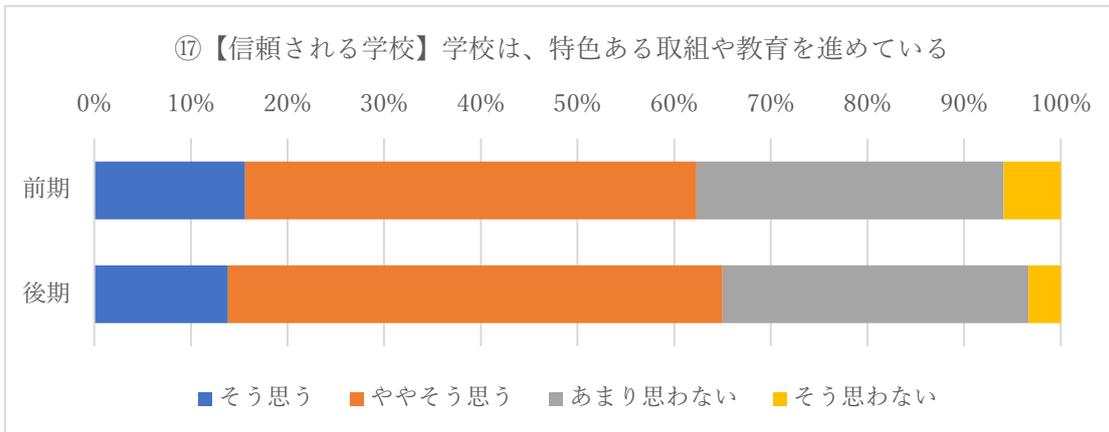
⑭前期より数値が少し下がっている。保護者への周知不足と考える。学校だよりやホームページでの積極的な発信に加え、目指す子どもの姿を意識し、継続的に子どもへの声かけをしていく。学年だより、保健だより、給食だより、図書だよりなど、各手紙類で発信していく。



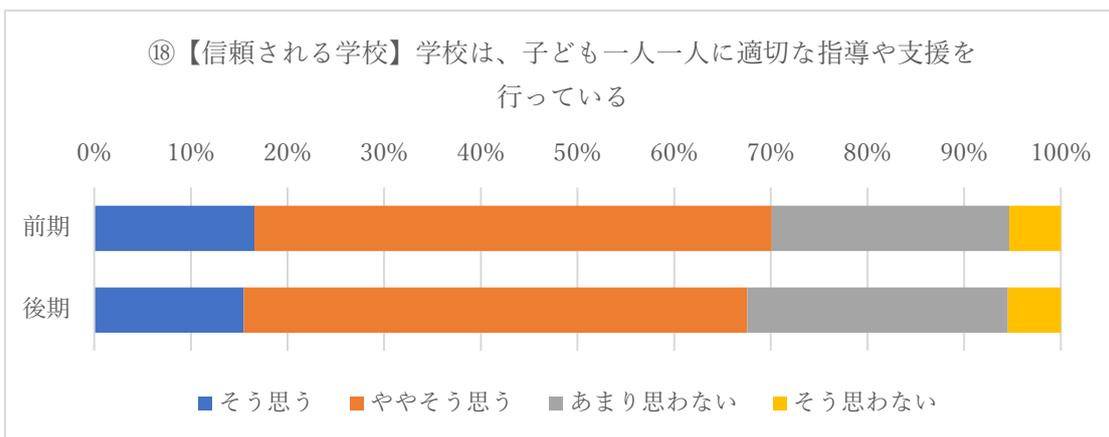
⑮学校では授業をはじめとする教育活動に保護者ボランティアを募り、保護者と連携していく。コロナ明けで地域との関連行事が少ないので、学校運営協議会、PTA、六中ブロックコミュニティクラブ、おやじの会、おにたかっこ祭り実行委員会と協議していく。



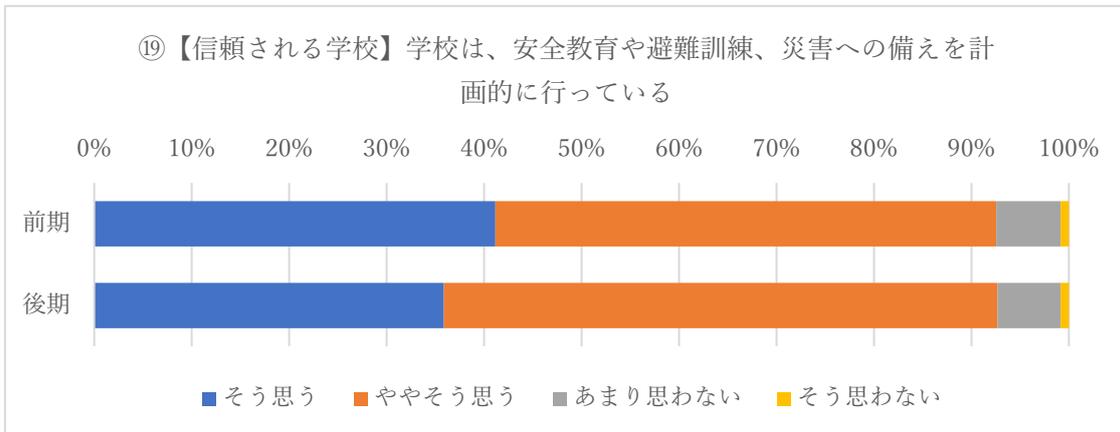
⑯保護者の思いや願いとは、子どもの笑顔と成長であろう。全職員が適切な対応を行うと同時に指導の意図を児童や保護者に正しく伝えるために、学校と家庭の丁寧な連携を目指していく。



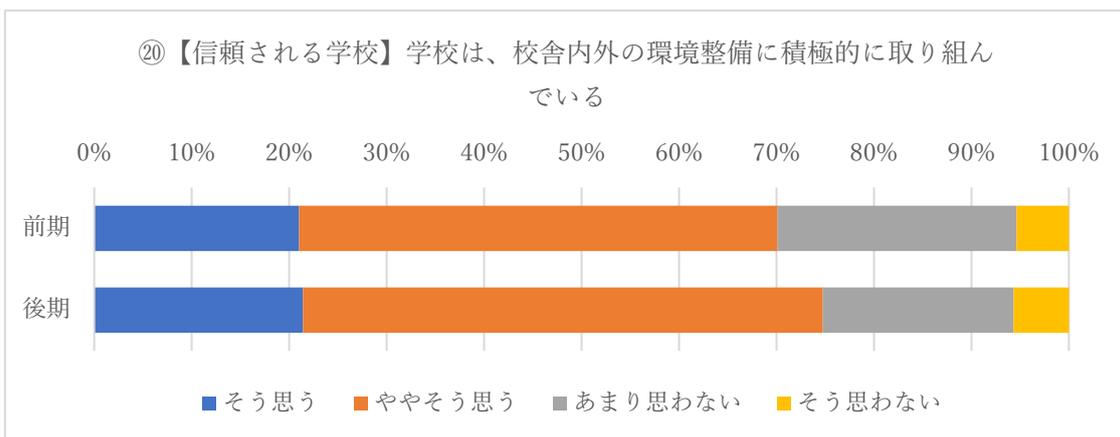
⑰前期より数値が増えている。学校だよりで「おにたか5 KEY」と関連付けて行事の紹介をしている成果が出ているのではないかと。また、校外学習他、行事の様子をメールやホームページで伝えている。今後も継続して紹介していきたい。



⑱養護教諭、情緒通級教諭、スクールカウンセラー、補助講師3人など担任以外の職員とも連携して、粘り強く個別の支援・指導を実施している。保護者には状況をよく見てもらい、支援方法を一緒に考えていく。



⑲安全教育として、避難訓練、不審者対応訓練、消火訓練、引き渡し訓練、交通安全教室など、いざというときのために多くの訓練を行っている。また、PTA会費から全校児童分の災害非常食、サーマルシートの備蓄もしている。



⑳環境整備については、故障対応、修繕を繰り返している。用務員と連携しながら、使い勝手が悪くならないよう努めている。学校で対応できないものは、教育委員会と連携していきたい。5、6年生が活動する環境委員会がプランターに花の植え付けなど、美しい学校づくりに貢献している。